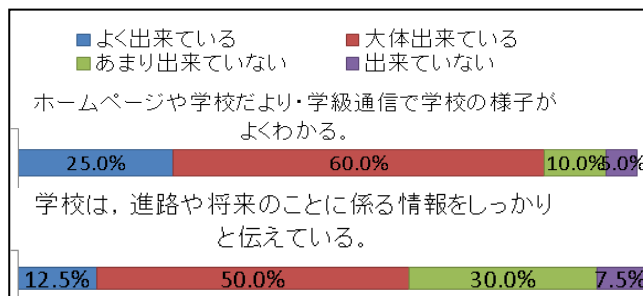


平成 30 年度 学校評価アンケート(後期) 結果より

京都市立高雄中学校

1月下旬に学校評価について「保護者アンケート」「生徒アンケート」を取りました。後期のアンケート集約結果を前期のものと比較しながら分析した概要を報告いたします。

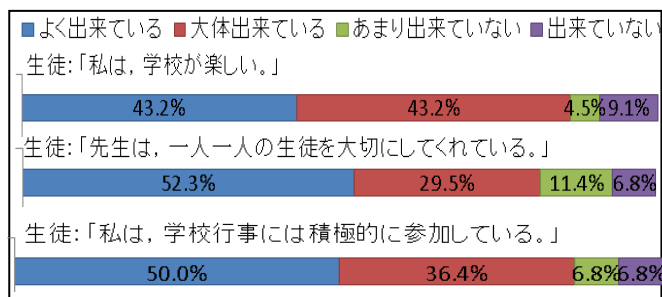
○保護者アンケートの質問事項「学校の様子」等については、前期よりは少々実現度が下がりましたが、ほぼ85%の保護者が「できている」との回答でした。また、前期と比較し「子どもは、学校からのプリントを確実に保護者に渡している。」との実現度が上がっています。しかし、保護者の約38%から「学校は、進路や将来に係わる情報をあまりしっかり伝えていない。」との回答があったことから、保護者にわかりやすく情報提供をすることの重要性を再度確認し、情報提供に努めていきたいと考えています。



○『学校生活について』保護者アンケートと生徒アンケートの前・後期を比較すると、

- ・保護者「3 子どもは、毎日学校へ行くのを楽しみにしている」前期 83.3% 後期 80.0%
生徒は「1 私は、学校が楽しい」前期 78.7% 後期 86.4%
- ・保護者「9 子どもは学校行事に積極的に参加している。」前期 88.1% 後期 90.0%
生徒「7 私は、学校行事に積極的に参加している。」前期 83.0% 後期 86.4%(よくできている 50.0%)
- ・保護者「4 学校は、子ども一人一人を大切にしている。」前期 95.2% 後期 77.5%
生徒「2 先生は、一人一人の生徒を大切にしてくれている。」前期 89.3% 後期 81.8%

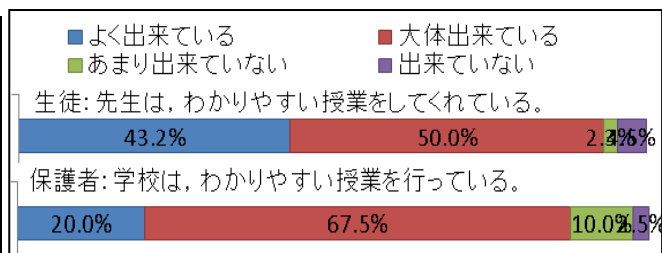
子どもたちは積極的に学校行事等に参加し、学校生活を楽しく過ごしてくれているようです。しかし、保護者アンケートの回答から、学校の子ども一人一人とかわり方について不安に思われている方があることを真摯に受け止め、教職員は子ども一人一人を大切に丁寧に子どもたちと接するように心がけ、これまで以上に子どもたちの気持ちに寄り添うことを心掛けていきたいと思えます。



○『学習について』保護者アンケートと生徒アンケートを前・後期を比較すると、

- ・保護者「5 学校はわかりやすい授業を行っている。」
生徒「4 先生は、わかりやすい授業をしてくれている。」

		前期	後期
保護者	できている	82.9%	87.5%
	(よくできている)	(14.6%)	(20.0%)
生徒	できている	91.5%	93.2%
	(よくできている)	(44.7%)	(43.2%)
	できていない	8.5%	4.5%



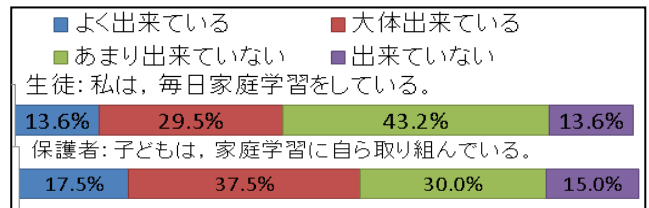
教員は、常に子どもたちにとってわかりやすい授業を心がけて取り組んできた成果ができています。今後とも「できていない」の数値に注目し、子どもたちが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業改善に努めていきたいと考えます。

- ・保護者「6 子どもは、家庭学習に自ら取り組んでいる。」
生徒「5 私は、毎日家庭学習をしている。」

前期と比較して一番実現度が落ち込んだ項目です。生徒の回答結果が著しく低くなっているため、学年ごとに結果を分析しました。3年生は高校進学という目標がはっきりしているため、しっかり家庭学習ができているようです。一方、1・2年生で家庭学習をする子としない子の差が、はっきり出てきています。また、1年生は学校から出される教科の課題や「積み重ね学習」はきちんとやって提出率も高いのですが、その日の授業の復習や明日の予

		前期	後期
保護者	できている	56.1%	55.0%
	(よくできている)	(22.0%)	(17.0%)
	できていない	7.3%	15.0%
生徒	できている	66.0%	43.1%
	(よくできている)	(27.7%)	(13.6%)
	できていない	8.5%	13.6%

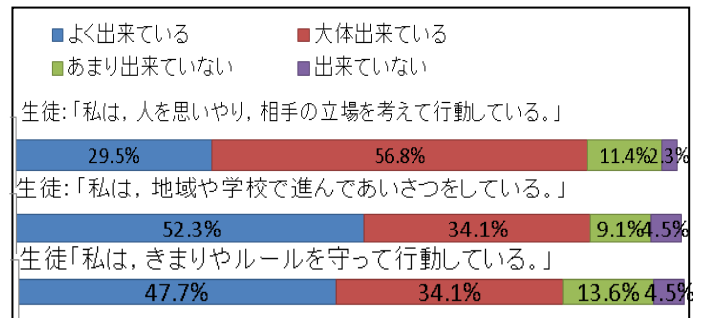
習を自主的にやるところまでは至っていないようです。子どもたちが自分の課題を明らかにして自学自習ができる力を身に付けていけるように進めていきたいと考えます。



○『豊かな心について』生徒アンケートを前期と後期で比較すると、

- ・「人を思いやり、相手の立場を考えて行動している。」 前期 80.4% 後期 86.3%
- ・「地域や学校で進んであいさつをしている。」 前期 78.9% 後期 86.4%

地域や学校であいさつをしている		前期	後期
保護者	よくできている	16.7%	30.0%
	大体できている	69.0%	60.0%
	できていない	14.3%	10.0%
生徒	よくできている	48.9%	52.3%
	大体できている	29.8%	34.1%
	できていない	21.2%	13.6%



子どもたちは相手の立場を考えて行動し、自分とかわる人たちに挨拶ができるようになっていきます。人とのかわり、コミュニケーションの大切さを理解し行動できるように成長している証だと思います。

- ・「きまりやルールを守っている。」 前期 91.5% 後期 81.8%
- ・「遅刻をしないように意識して登校している。」 前期 91.5% 後期 84.1%

子どもたちは規範意識もほぼ身につけていますが、前期に比べるとポイントが下がっています。「時間に間に合ったらよい」「これくらいなら許されるかなあ。」というような心のゆるみが出てきている生徒が見受けられます。社会生活を営む一員として、自分で自分を律することの大切さに気付かせていく必要があると感じています。

- ・「家庭であいさつができている。」 前期 89.3% 後期 86.3%
- ・「毎日朝食をとって登校している。」 前期 93.6% 後期 97.7%
- ・「家族とのふれあいや対話を持つ。」 前期 91.5% 後期 92.1%

どの項目も約9割近くからそれ以上の子どもたちが「できている」と答えていることから、保護者の方が子どもたちの生活をしっかり支えて子どもたちを温かく見守っていただいていることがよくわかります。

○『困ったことや悩みの相談について』

- ・「学校の先生に相談できる」 保護者 50.0% 生徒 77.2%
- ・「相談できる友人がいる」 保護者 82.5% 生徒 88.6%

となっています。子どもたちが自分の困りごとや悩みを、先生や友人に相談できる関係があることは心の安定・成長にとって大切なことです。この信頼関係を大切に継続していける関係づくりに努めていきたいと考えます。

その一方、

- ・保護者「子どもは、困ったことや悩みを

「11 先生に相談できている」 あまり出来ていない+できていない 50.0%

「12 相談できる友人がいる」 あまり出来ていない+できていない 17.5%

生徒「9 先生は困ったことや悩みに相談にのってくれる。」 あまり出来ていない+できていない 22.7%

「10 困ったことや悩みを相談できる友人がいる。」 あまり出来ていない+できていない 11.4%

教職員は一人一人の子どもを大切にしながら丁寧に接するように常に心がけていますが、困ったことや悩みを先生や友人に相談できずにいる子どもがいることを真剣に受け止めて、日頃から子どもに声掛けをしながら、さらに子どもの様子に目を配り、変化を見過ごすことのないように子どもたちに寄り添っていきたくて考えています。また、教育相談等でゆっくり話をする機会を作り、子どもたちが安心して心打ち明けられる信頼関係と環境作りをしていきたいと考えます。時には、スクールカウンセラーへの相談を促したりすることも大切なことだと考えます。

今後とも、子どもたちが、自分の悩みや自分を語ることでできる学校づくりを心掛けていきます。